

令和2年度 岡津地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

1つの連合町内会を担当しているケアプラザとして各種団体の会合や催事に積極的に参加し、地域のニーズの把握を行い、情報提供や各種団体の活動の支援を行っていきます。  
 地域ケアプラザの役割について地域に十分に知ってもらえるよう、情報発信を行うと共に 区役所や区社会福祉協議会と連携し、地域の課題を各種団体と一緒に考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	職員それぞれのキャリアアップが構築できるよう、その能力に応じてステップアップを後押しします。また日々の仕事の中で議論し意欲、スキルの向上を図ります。ケアプラザは情報量が重要なことから市、区、の動向地域の動向、他のケアプラザの取り組み事例などをミーティングで共有し情報量を磨きます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	対象を問わず、地域の方に参加していただける事業を実施します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広く地域に対してケアプラザの貸館業務について知ってもらえるように周知します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域や関係機関の会議、自主事業等において、ケアプラザが地域の身近な総合相談の窓口であることを周知します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域に出向き、出張講座・相談会を行い、ケアプラザの周知と地域の情報収集に努めます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ケアプラザの開館時間の変更になったり貸館や事業の制限がかかり、地域の福祉活動の拠点として地域住民の皆さまに知っていただく機会をなかなか持つことが出来ませんでした。そのような中で、ケアプラザとしてできることは何かを考え連合町内会、地区福祉社会協議会の皆さまのご協力のもとケアプラザ祭を開催し、多くの地域住民の皆様にご参加いただきました。また、第4期地域福祉保健計画においては区役所、区社会福祉協議会と協働、連携を取りながら地域の課題解決や支え合いの仕組みづくりを進めていきます。

区からのコメント

(地域活動交流)

他の祭りがほぼ中止となっている中、徹底した感染症対策を検討し、連合や地区社協とも協力しながら、ケアプラザ祭を開催できたことは非常に評価できます。普段あまりケアプラザに来ることのない小学生～高校生にも参加してもらい、新設ケアプラザを地域に知ってもらえる良い機会になったと思います。

また、第4期地区別計画の策定では、ケアプラザで毎月1回検討会を開催し、地域主体の計画を策定することができました。今後は、計画をどのように具体的な事業として実行するか、ケアプラザの専門性を活かし、協力いただけることを期待します。

(地域包括支援センター)

各計画の推進が軌道に乗ってきた中、コロナ禍における臨機応変な対応が求められたかと思えます。その中で、介護者のつどいにおける個別支援に資する協力医との連携、医療情報・調剤薬局情報ツールの見直し・配布、認知症初期集中支援チームにおける結びつき強化を目指した連携など、各事業に対してケアプラザ全体で推進している様子が伺えました。

地域特性をとらえ、地域に合わせた支援策の構築が伺えますので、次年度も引き続き地域ニーズに沿った支援をお願いします。

(生活支援体制整備事業)

ケアプラザエリアの地域特性を把握し、地域と関係性を築くためのきっかけづくりを行うことができました。

次年度は把握した地域課題を解決するために関係機関、団体、民間企業等と連携して新たなアプローチで事業展開することを期待しています。